



## 会員近況

日本鋼管 地域開発部 兼 明信

3月にアメリカのコンベンションセンター、ウォーターフロント等、最近の都市開発や都市再開発を視察したとき、ある市の担当官から「都市開発とは、いかに人を集めるような仕組みを作るかである」といわれました。視察したどのプロジェクトも、いかに人をひきつける魅力を取り入れるかに腐心しているようです。

たとえばボストン市では、元市場である所を**Festival Market Place**として再開発し、異なる業種の小売店やファーストフードやレストランを集めて、1日中いても楽しい街を作り、年間1000万人以上（東京ディズニーランドと同程度）の人を集めている。また、ダラス市では4800haの膨大な土地に、ラスコリナス（スペイン語で丘の意味）ビジネスパークを作り、世界の一流企業450社を集め、24時間安全な住居エリア、快適なアーバンセンター（オフィス、ショッピングセンター、ホテル、レストラン）、保養リクリエーションエリア（3ゴルフコース、アスレチッククラブ）、コミュニティカレッジ等の教育施設エリア等があり、各エリア拠点を運河で結び憩いのウォーターフロントを形成している。むろん、地形の起伏をうまく活かし、環境の美的バランスを十分意識して設計されている。このように、働き、住み、学び、遊び、憩う、すべての機能を総合化した **High Complex**

な **High Quality Business Park** でした。

都市開発は、大規模で、10年～20年の長期にわたるプロジェクトです。それがなぜアメリカでこのように盛んに行なわれているのか？ どのようなFSを行なったのか、ORは使われたのだろうか。日米の風土の差を考慮すれば、日本にどのような形で何が導入できるのだろうか等々、山と積まれた宿題をお土産に帰国しました。

日本医科大学  
基礎科学数学教室 三宅 章彦

本学で20年近く統計学の教育を担当しています。2年前より数学・統計学教育の現場にパソコンを導入すべく悪戦苦闘をしてます。表向きは数学・統計学の計算演習の補助ということにしていますが、本当の狙いは情報処理の種々の形態をパソコンを通じて体験させることにあります。1年生の1学期には、ハンドヘルドパソコンPC-8201を1台ずつもたせ、線形代数演習の名目でBASICを教育します。その後の1年間は統計学の演習で、デスクトップパソコンPC-9801を5名で1台使わせませす。市販の統計用パッケージソフトを使わせたり、ワードプロセッサや簡易言語を利用させたりします。グラフ作成用ソフトやXYプロッターもいずれは使わせるつもりです。

通信機能を体験させるために、音響カプラーを通じて電々公社のDEMOS-Eに接続し、多変量解析のプログラムを使わせています。統計からはずれるのですが日経のデータ・ベースNEEDS-IRも実演して見せています。学校側に理解させたり、授業の準備が誠に大変ですが、眠くなるような理論講義よりは喜ばれているようです。

**編集後記**▶6月から編集委員の大半が交代した。牧野委員長をはじめ長年にわたって副委員長を勤めてこられたベテランの城信雄氏も任を終えられたため、新委員会は何事につけ不馴れなことばかりである。とにかく発行にこぎつけた。前任者のご苦勞のほどが察せられるばかり

である▶思うに本誌はいわばOR学会の顔である。学会員相互のコミュニケーションはいうにおよばず、ORによって何が可能なのかということ、会員諸兄の実際的なよい仕事によって、多くの人々に知ってもらうことが何よりも大切なことだと考えている。 (Y)

## オペレーションズ・リサーチ

昭和60年7月号 第30巻（新シリーズ第10巻）7号 通巻295号

代表者 近藤次郎

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
(電話 03-815-3351~2) 〒113

編集人 牧野都治

発売所 株式会社 日科技連出版社  
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ

定価 850円（郵送料含）年間予約購読料 9800円（郵送料含）

本誌への広告お申し込みは明報社（571-2548）、日経弘報社（563-2241）へ